

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 3 日(2024.12.3)

【公開番号】特開 2023-76149(P2023-76149A)
【公開日】令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-101
【出願番号】特願 2021-189381(P2021-189381)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 11 月 25 日(2024.11.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技を制御可能な遊技制御手段を備え、
前記遊技制御手段は、
所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、
遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、
前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準
数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能である遊
技機であって、

30

演出図柄を変動表示した後、前記大当たり遊技状態にするかの判定の結果を示す停止態
様で停止表示する変動演出を実行可能であり、

前記変動演出において特定画像を表示した場合には、一旦停止表示された演出図柄の再
変動表示を行うものであり、

前記変動演出では、前記演出図柄をリーチ状態としないで、前記特定画像が表示される
かを煽る煽り演出を実行するときと、前記演出図柄をリーチ状態とした後で、前記特定画
像が表示されるかを示す特定発展演出に発展させるときとがあり、

前記演出図柄の変動表示が開始されてから前記煽り演出が失敗するまでの時間よりも、
前記演出図柄の変動表示が開始されてから前記特定発展演出が失敗するまでの時間の方が
長いことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

ところで、遊技機では、遊技者が継続した遊技によって、過剰な賞球を獲得することがあ
り得る。この場合、遊技機が遊技者に対して過剰な賞球を付与しないようにすることはな
かった。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明の遊技機は、
遊技を制御可能な遊技制御手段を備え、
前記遊技制御手段は、
所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、
遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、
前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準
数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能である遊
技機であって、
演出図柄を変動表示した後、前記大当たり遊技状態にするかの判定の結果を示す停止態
様で停止表示する変動演出を実行可能であり、
前記変動演出において特定画像を表示した場合には、一旦停止表示された演出図柄の再
変動表示を行うものであり、
前記変動演出では、前記演出図柄をリーチ状態としないで、前記特定画像が表示される
かを煽る煽り演出を実行するときと、前記演出図柄をリーチ状態とした後で、前記特定画
像が表示されるかを示す特定発展演出に発展させるときとがあり、
前記演出図柄の変動表示が開始されてから前記煽り演出が失敗するまでの時間よりも、
前記演出図柄の変動表示が開始されてから前記特定発展演出が失敗するまでの時間の方が
長いことを特徴とする遊技機である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明の遊技機によれば、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供可能である。

30

40

50